

うるくの コネタ

ローカルなコネタ、
歴史ネタなどをご紹介

THEATER

シリーズ『うるくにあった映画館』その3

高良に映画館があったってよ~!(小禄劇場)

戦後のまだまだ娯楽の少ない時代にうるくにあった映画館(5つ)をシリーズでご紹介しています。

【始まりは"露天"劇場】

戦後復興の中、字大嶺出身の平良雄一氏が「復興と慰安は不離一体」という信念のもと、米軍監督官の了解をとりつけ1949年(昭和24)元日に映画兼芝居小屋として劇場をつくったのがはじまりで、当初は露天の劇場でした。観客は縁台風の長椅子に座っていたといいます。戦後の沖縄における劇場の始まりの一つともいわれ、沖縄芝居や映画で娯楽の枯渇していた村民を癒しました。『大嶺の今昔』(2008年発行)によると当時の小禄村役場(現・小禄南公民館)の斜面を利用してつくられた様子が描かれていることから当初は現・小禄南公民館の北側に建てられていたと推測されます。また、那霸市高良小学校・幼稚園「創立50周年記念誌」(1996年3月発行)には、1955年の第10回卒業式と1957年の創立11周年記念学芸会を小禄劇場で行ったという記述があり、まだ大きな建物が少ない時代で地域の会場的な役割も担っていたのかも知れません。



露天劇場の頃の様子。『大嶺の今昔』より出典



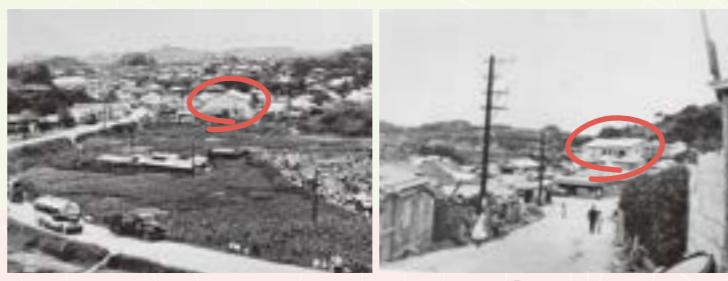
1954年2月ごろ(賀敷博さん提供)



1960年頃の
小禄劇場。

【"娯楽の殿堂"として大いに賑わった】

1952年(昭和27)に有蓋化した『小禄劇場』を字高良に建設。現在ローソン那霸高良二丁目店がある建物の東側に隣接して建てられました。本格的な建物で小禄地域全体から多くの住民が訪れる"娯楽の殿堂"として賑わったそうです。(のちに『小禄国映館』に改名)また、『小禄劇場』の隣(現・ローソン那霸高良二丁目店付近)には大きなゆーふるやー(つばき湯/公衆浴場)がありました。家に風呂がない家庭も多く、家族で風呂に入り、帰りには映画を見て帰るというのは当時の最大の娯楽だったようです。1960年代(昭和40代)にかけてテレビが各家庭にはいるようになるまでは映画見物の客で毎夜賑わいを見せました。



1955年ごろの旧県道331号線と高良。三角屋根の小禄劇場が写っている。『真志字誌』より出典
1955年ごろの高良市場通り。三角屋根の小禄劇場が写っている。『高良の字誌』より出典

【出入口はコンクリートで劇場は三角屋根だった?】

『真志字誌』『高良の字誌』を見ると有蓋化された1952年以降の『小禄劇場』の様子が写っています。いずれも三角屋根で"小禄劇場"と書かれた建物が写っていることから、正面出入口はコンクリート造りで劇場部分は三角屋根の建物だったのではないかと想像しています。(建物の全体像がわかる写真・資料が無いため判明出来ていません。引き続き調査して行きます)



劇場があったと思われる場所は、
現在では住宅街となっています。



記事監修:シネマラボ実質小僧・當間早志さん
参考文献:『高良の字誌』(2008年発行)、『真志字誌』(2019年発行)、『大嶺の今昔』(2008年発行)、
『超ローカル「小禄-OROKOU-うるく」ホームページhttps://098roku.net/』



編集後記

地域出身の
創業者が創る
地域の店

今回の特集も素敵なお店の皆さんにご協力
いただきました。お忙しい中、取材にご協力
いただき本当にありがとうございました!
奇しくも今回はうるく地域出身者が創業し、
共に長年地域や観光客に親しまれてきたお店。
地域、そして沖縄への想いがお店とスタッフ

さんにぎゅっと詰まっていて、うるくにこうした
お店が存在し続けてきたことをとても嬉しく
感じました。また、学童クラブの皆さんも、
地域の子どもを見守りながら地域を支えて
くれています。なんだか今号は"地域愛 =
うるく愛"が詰まった号になって嬉しいなあ~♡

うるくローカルプレスの「小禄(うるく)」は、【小禄、字小禄、宇栄原、具志、高良、田原、金城あたり】としています。

URUKU LOCAL PRESS
うるくローカルプレス

WEBサイト
画面では伝えきれない情報が満載!
<https://uruku.daikyo-k.net>

お問い合わせ&窓口
✉ uruku@daikyo-k.net
各SNSからのメッセージもOK!

QRコード
Facebook
Twitter
Instagram
YouTube

うるくの情報発信局
『うるくローカルプレス』

編集部:那霸市字宇栄原925番地 若葉1-3号室
運営:大鏡建設株式会社(那霸市字小禄912-1)

人とまちの
未来をつくる。

DAIKYO CONSTRUCTION
大鏡建設

URUKU LOCAL PRESS

うるくローカルプレス

うるくのローカルな情報を届け!

2024年1月
vol.14

手みやげ、贈りものに。



無料 TAKE PRESS



手みやげ、贈りものに。

“地元で揃う”ここぞという時の手みやげ、贈りもの選びにぴったりのお店をご紹介します。



沖縄みやげ！ ショールーム& 流通センター

地元に愛される沖縄みやげ専門店

創業 38 年の具志にある沖縄みやげ専門店。お菓子や食料品、お酒、工芸品などの沖縄みやげがズラリと揃い、定価の 10%～30% 引きで購入できます。具志に本社があり国際通りや北谷で沖縄物産店を展開する(株)沖縄総合貿易が営んでおり、具志出身の創業者・上原さんが「地元の人に集まつてもらえる様に…」との想いからこのお店を開いたそうです。以来、観光客はもちろん、地元の人や自衛隊のご家族にも多く利用されています。「県外への発送や手土産、お祝い事や法事などでご利用いただいています。コロナ禍でもお店はずっと開けていましたが、地元の方のおかげで助けられました」(マネージャーの當真さん)。歴代のお店スタッフも近所に住む人が多く、まさに地元密着のおみやげ屋さん。お祝い事や手土産に、そして県外からお客様が来た際に、ぜひ一度ご利用ください!

ショールーム&流通センター

☎ 098-859-0255
■ 那覇市具志2-2-8
○ 10:00~18:00
◎ なし(年中無休)
※向かいの駐車場に8台停められるようになりました
okisoushisha10.business.site/

オリジナル商品の「シーサーの島」(紅芋＆黒糖饅頭)

観光客に大人気の「Orion Beer」グッズコーナーも充実!

最大30%引き!
沖縄みやげがお得に買える穴場

地元の方へ
メッセージ

沖縄土産が沢山あるので、ぜひ一度遊びに来てください!

いちやりはシーサーバイン

ちゅーばー面シーサーボーダー

かりゆしウエアは、お仕事着のイメージがあると思いますが、カジュアルに着こなせる商品も多いのでプライベートでもぜひ着ていただきたいです!

地元の方へ
メッセージ

沖縄そばやゴーヤーちゃんぶるーなどの絵柄がユニーク!

うるくの
ココが好き!

空港から近くで商業施設もあり便利だと思います!

企画デザイナーの高良さん

地域の皆さんへ

「今の時代に合った形で子どもたちと向き合って、子どもたち、地域を活性化しながら盛り上げていきたいです!」

代表の
藤田さん

地域の皆さんへ

「お泊まりや地域の高齢者とふれあいも

代表の
藤田さん

こくあ児童クラブ

「こくあ(kokua)」とは、ハワイ語で協力する、助け合う、手伝うの意味

那覇市高良2-13-27 2階

090-9499-5559

kokua.pro/

@kokua41

KOKUA

那覇市高良2-13-27 2階

090-9499-5559

kokua.pro/

@kokua41

KOKUA

子どもの可能性が広がる「体験」ができる

高良小学校のすぐ近くにある児童（学童）クラブ。他の児童クラブでは体験できない内容のイベントやプログラムと今時代に合わせた臨機応変な対応で、日々子ども達と一緒に楽しく活動しています。テーマにしているのは【食育】と【体験】。みんなで焼きそばやピザを作つて食べるクッキングでは、協力して作る、助けあうことを中心に学びます。嫌いなモノも「残すのはだめだけど減らすのはOK」と子どもが自発的に

チャレンジする環境を作っています。「近所でピクニックをすることもあれば遠出もします。ハロウィンで仮装したり高齢の方々にダンスを披露したり。子どもたちそれぞれがどこで楽しみとか夢を見つけるかわからないので、そのきっかけになる回数(体験)を増やしてあげたいと思っています」と代表の藤田さん。キラキラと目を輝かせた子ども達がいっぱいの児童クラブ、ぜひ覗いてみてください!

楽しくおやつづくり!
「お料理が好きになった!」「家でもお手伝いするようになったよ!」

宿題は集中して!
「みんなと遊びたいから宿題も頑張る!」

全力で遊びます!
1番人気はスポーツ。みんなでやるから楽しい!」「お泊まりや地域の高齢者とふれあいも

様々な体験活動!
お泊まりや地域の高齢者とふれあいも

地域の皆さんへ
「今の時代に合った形で子どもたちと向き合って、子どもたち、地域を活性化しながら盛り上げていきたいです!」